

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年12月21日

## NTT東日本×デジタル浮世絵展 デジタルミュージアム

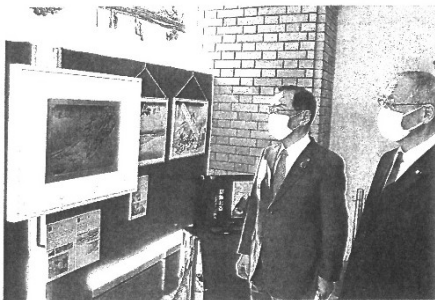


デジタル処理した歌川広重の「東海道五十三次」などの作品を公開

2020.12.3@袋井市役所ロビー

2020.12.4 静岡新聞

### 袋井の文化 ICTで前へ



袋井市とNTT東日本（東京都）は、情報通信技術（ICT）を活用した新たな文化施策の推進に向けて連携する。取り組みの一環として、市役所にロビー、同社が東海新幹線区で開催しているデジタルミュージアム「Digital×北斎（破章）北斎VS廣重のサテライト会場が開設された。

### 市とNTT連携

高精細なデジタル加工を施した美術作品などの画像をICTを使って自治体に配信するのは全国初。

袋井宿を題材とした「袋井 出茶屋ノ図」をはじめデジタル処理した歌川広重の「東海道五十三次」などの作品を公開

展示期間は、R3.2月末まで

市役所でデジタル浮世絵展

### 精巧 4K「広重」に注目

サテライト会場で公開されている浮世絵を鑑賞する原田英之市長（左）ら

「まずデジタルアートを市民に理解してもらい、文化活動につなげたい」と話す。（袋井支局・仲瀬敏介）

初日はオンラインセレモニーが開かれ、原田英之市長ら市関係者約30人が出席。メイン会場とのオンライン中継も行い、NTT東日本の担当者による作品紹介などが行われた。

連携は、遠隔が進む地域の文化、芸術をデジタルで集積・発信し、文化振興につなげる狙い。独自の歴史や浮世絵を活用した市の取り組みに同社が共感し、表現した。文化振興に向けた課題を共有し、解決策を模索する。市ICT政策課の小柳津和彦課長は「まずデジタルアートを市民に理解してもらい、文化活動につなげたい」と話す。

高精細なデジタル加工を施した美術作品などの画像を、ICTを使って自治体に配信するのは全国初の試み。4Kモニターを設け、2月末までデジタル処理した歌川広重の「東海道五十三次」などの浮世絵を公開する。袋井宿を題材とした「袋井 出茶屋ノ図」をはじめ、最新テクノロジーを駆使して精巧に再現された作品が来庁者の注目を集めている。

挑戦する人に応援するまち

